

下呂市 全域

令和4年度

【地域の概要】

- 下呂市は岐阜県のほぼ中央に位置し、市の中央を飛騨川が南へ、西には清流馬瀬川が流れ、総面積の91%が森林という自然豊かな山村地域。日本三大名泉の1つとされる下呂温泉には年間250万人以上の人を訪れる。
- 主な農産物は、昼夜の寒暖差を活かした夏冬トマト、飛騨牛ブランドで知られる肉用牛、人気水稻品種「いのちの雫」が栽培されるなど水稻も盛ん。
- 耕地面積は1130ha（田800ha、畑330ha）

①取組開始前の状況や課題

【下呂市農業委員会の目標】

農業の「担い手」の労働力を確保、安定的な経営体制を構築し、農地を効率的かつ適正に維持管理することで、将来にわたって日本の農村風景を守りたい。

【下呂市農業の現状と課題】

- ◆農閑期の存在と収支が不安定であるため、通年雇用が困難
- ◆補助制度を活用するに際し、「担い手」への農地集積が必要不可欠であるが、労働力不足によりこれ以上の経営拡大が困難
- ◆生産人口の減少
- ◆アクティブシニア、子育て世代の主婦層を十分に活用出来ていない
- ◆市内にもスキマバイトアプリ登録者が存在するが、市内に登録事業者が無いため、労働力が流出

②取組内容

令和5年3月7日
下呂市×タイミー協定を締結

- ◆登録ワーカーの確保
- ◆登録事業者（農業者）の確保
- ◆プロモーション活動
- ◆農業部門以外への展開



③事業連携により期待できる効果

<下呂市>

- ◆ワーカーの掘起し → 限られた労働力のフル活用
- ◆登録事業者の増加 → 市外ワーカーの獲得（交流人口の増大）
- ◆モデルケース構築 → 農業分野以外への波及（観光、介護医療、林業等）
- ◆全国に先駆けた取組 → 知名度アップ、視察研修の誘致 ほか

<タイミー>

- ◆登録事業者の増加 → 地方インフラの整備
- ◆新たな分野（農業）の参入 → 大人版の「キッザニア」の実現
- ◆モデルケース構築
- ◆全国に先駆けた取組 → 地方インフラのロールモデル

➡ **地域×タイミー 新たなビジネスモデルの確立**